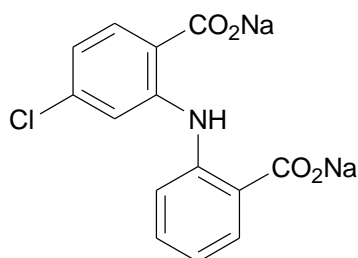


1 **ロベンザリットナトリウム**

2 Lobenzarit Sodium

3 ロベンザリット二ナトリウム



4

5 $C_{14}H_8ClNNa_2O_4$: 335.65

6 Disodium 2-[(2-carboxylatophenyl)amino]-4-chlorobenzoate

7 [64808-48-6]

8 本品を乾燥したものは定量するとき、ロベンザリットナト
9 リウム($C_{14}H_8ClNNa_2O_4$)98.0~101.0%を含む。

10 **性状** 本品は白色~微黄白色の結晶性の粉末である。

11 本品は水にやや溶けやすく、エタノール(99.5)にほとんど
12 溶けない。

13 **確認試験**

14 (1) 本品の水溶液(1→50)は塩化物の定性反応(1) (1.09) を
15 呈する。

16 (2) 本品の水溶液(1→100000)につき、紫外可視吸光度測
17 定法 (2.24) により吸収スペクトルを測定し、本品のスペク
18 トルと本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペク
19 トルは同一波長のところに同様の強度の吸収を認める。

20 (3) 本品を乾燥し、赤外吸収スペクトル測定法 (2.25) の
21 臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと
22 本品の参照スペクトルを比較するとき、両者のスペクトルは
23 同一波数のところに同様の強度の吸収を認める。

24 (4) 本品の水溶液(1→50)はナトリウム塩の定性反応(2)
25 (1.09) を呈する。

26 **純度試験**

27 (1) 重金属 (1.07) 本品1.0 gをとり、第2法により操作
28 し、試験を行う。比較液には鉛標準液2.0 mLを加える(20
29 ppm以下)。

30 (2) ヒ素 (1.11) 本品2.0 gをとり、第3法により検液を
31 調製し、試験を行う(1 ppm以下)。

32 (3) 類縁物質 本品50 mgを水2.5 mLに溶かし、試料溶
33 液とする。この液1 mLを正確に量り、水を加えて正確に
34 100 mLとする。この液4 mLを正確に量り、水を加えて正確
35 に20 mLとし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層ク
36 ロマトグラフィー (2.03) により試験を行う。試料溶液及び
37 標準溶液5 μ Lずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲル
38 (蛍光剤入り)を用いて調製した薄層板にスポットする。次に
39 テトラヒドロフラン/水/トリエチルアミン混液(50 : 15 :
40 8)を展開溶媒として約10 cm展開した後、薄層板を風乾する。
41 これに紫外線(主波長254 nm)を照射するとき、試料溶液か
42 ら得た主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポ
43 ットより濃くない。

44 (4) 残留溶媒 別に規定する。

45 **乾燥減量** (2.41) 1.0%以下(1 g, 105°C, 2時間)。

46 **定量法** 本品を乾燥し、その約0.1 gを精密に量り、水40 mL
47 を正確に加えて溶かしジエチルエーテル/テトラヒドロフラ
48 ン混液(1 : 1)60 mLを正確に加え、よく振り混ぜながら0.1
49 mol/L塩酸で滴定する(指示薬：プロモフェノールブルー試液
50 10滴)。ただし、滴定の終点は水層の青色が持続する淡青緑
51 色になるときとする。同様の方法で空試験を行い、補正す
52 る。

53 0.1 mol/L塩酸1 mL = 16.78 mg $C_{14}H_8ClNNa_2O_4$

54 **貯法** 容器 気密容器。